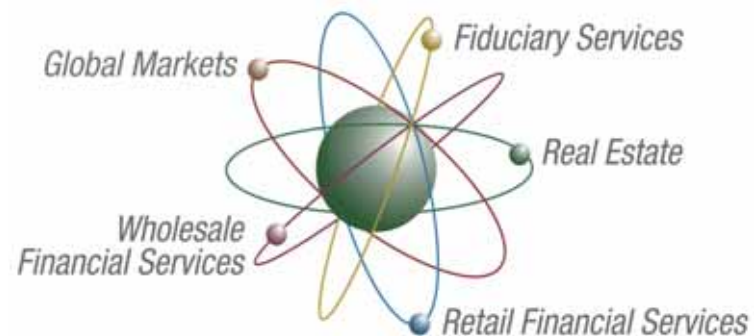




SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

***Sumitomo Trust & Banking
Co., Ltd.***



2006年度上期 決算説明会

2006年11月28日

- ▶ 2006年度上期 決算概況
- ▶ 2006年度 決算予想
- ▶ 各事業及びグループ戦略の状況
- ▶ 更なる成長への道程

2006年度上期 決算概況



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2006年度上期 決算の概要

- ▶ 連結の経常利益、純利益とも中間期としての過去最高益を更新
- ▶ 単体でも資金関連収支、手数料関連収支で増益を確保

<連結> (億円)	06年度上期	05年度上期	前年同期比	増減率
実質業務純益	1,053	1,011	41	4%
経常利益	991	879	112	13%
中間純利益	639	537	102	19%
連結EPS(潜在株式調整後)	38.22円	32.22円	6円	19%

<単体> (億円)	06年度上期	05年度上期	前年同期比	増減率
実質業務純益	868	880	12	1%
資金関連収支 (*1)	828	784	44	6%
手数料関連収支 (*2)	525	476	49	10%
その他の収支	120	222	101	46%
経費 ()	607	602	5	1%
臨時損益	40	97	57	59%
経常利益	859	769	90	12%
特別損益	10	45	55	123%
中間純利益	554	497	57	12%
与信関係費用 ()	33	34	0	3%
1株当たり配当金(中間配当)	8.5円	6.0円	2.5円	42%

(*1) 貸信合同信託報酬(不良債権処理除き)を含む

(*2) 貸信合同信託報酬以外の信託報酬を含む



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

事業別損益の状況

- ▶ マーケット資金事業(債券売買損益)の前年同期比マイナスを他の事業の増益でカバー
- ▶ 特に、受託・不動産・リテールの各事業が大幅に伸長

(億円)	単体実質業務粗利益			単体実質業務純益			連結実質業務純益		
	06年度 上期	05年度 上期	増減額	06年度 上期	05年度 上期	増減額	06年度 上期	05年度 上期	増減額
ホールセール事業	522	513	9	348	344	4	472	437	35
うち証券代行事業	97	93	4	24	20	3	47	40	7
リテール事業	391	348	43	109	71	37	121	83	38
マーケット資金事業	286	379	93	241	334	93	241	334	93
受託事業	256	218	37	119	84	35	148	99	49
年金・投資マネージ	183	164	19	80	59	20	86	62	23
証券管理サービス	73	54	18	40	24	15	62	36	25
不動産事業	148	123	24	111	84	27	126	91	35
事務アウトソースに伴う支払 *1	135	129	6	-	-	-	-	-	-
その他 *2	7	31	22	60	37	24	56	33	23
合計	1,475	1,482	7	868	880	12	1,053	1,011	41

- *1 当期より、各部門の粗利益を、「事務アウトソースに伴う支払」前に変更。
これに伴い、受託事業は日本トラスティ・サービス信託銀行及び日本ペンション・オペレーション・サービスへの支払手数料差引き前の粗利益を、証券代行事業は日本TAソリューションへの支払手数料差引き前の粗利益を表示。
支払額の事業毎の内訳は決算プレス発表時の「平成19年3月期中間決算説明資料」11ページをご参照。
- *2 資本調達・政策株式配当等の収支及び純粋本部のコスト等を「その他」として計上。



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

主要グループ会社の連結損益への寄与額

- ▶ ファーストクレジット、住信不動産投資顧問が新たに連結グループ化で貢献
- ▶ 住信・松下フィナンシャルサービス、ビジネクストは前年の特殊要因解消を主因に減益ながら、他の各社は好調持続

(億円)	所属事業	当社G 持分割合	連結実質業務純益*1			中間純利益 (のれん償却前*2)		
			06年度 上期	05年度 上期	増減	06年度 上期	05年度 上期	増減
住信リース	ホールセール	*30%	9.2	9.8	0.6	5.6	5.5	0.0
住信・松下フィナンシャルサービス	ホールセール	66%	26.4	54.8	28.3	9.0	18.7	9.7
ファーストクレジット	ホールセール	100%	55.1	-	55.1	49.6	-	49.6
ビジネクスト	ホールセール	*40%	13.0	8.6	4.4	1.5	6.5	5.0
日本TAソリューション	証券代行	80%	23.1	19.3	3.7	15.9	12.3	3.6
住信保証	リテール	100%	11.4	7.9	3.4	23.3	5.1	18.2
STB(USA)	受託	100%	13.2	9.4	3.8	8.0	5.2	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行	受託	*33%	6.9	1.8	5.1	3.9	1.2	2.7
住信アセットマネジメント	受託	100%	5.8	3.7	2.1	3.4	1.9	1.4
すみしん不動産	不動産	100%	9.7	8.8	0.9	4.7	4.5	0.1
住信不動産投資顧問	不動産	100%	7.6	-	7.6	4.6	-	4.6

* 持分法適用関連会社(その他は連結子会社)

*1 連結子会社の場合: 経常利益(臨時要因調整後) - 内部取引(配当等)

持分法適用会社の場合: 経常利益(臨時要因調整後) × 持分割合 - 内部取引(配当等)

*2 のれん償却額: 住信・松下フィナンシャルサービス 10億円、ファーストクレジット 31億円ほか



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

資金利益の増減要因

- ▶ 前年同期比では国内3勘定の預貸粗利鞘は3bp縮小ながら、貸出残高増加でカバー
- ▶ 昨年来の中長期金利上昇を主因として、預貸粗利鞘の縮小トレンドにも底入れの兆し

【資金利益の内訳】

(億円)	05年度 上期	06年度 上期	増減
資金関連収支	784	828	44
うち国内3勘定資金利益	680	757	76
資金運用収益	802	964	161
うち 貸出金	546	607	61
うち 有価証券	149	198	48
うち スワップ収支	78	115	37
資金調達費用	124	205	81
うち 預金・信託元本	89	125	36
うち 譲渡性預金	2	22	19

貸出金利息(+61億円)
・平残: 9.3兆円 10.2兆円

有価証券利息(+48億円)
・平残: 2.8兆円 3.7兆円
債券利息収支:+20億円
株式配当等:+28億円

預金・信託元本利息(+36億円)
・平残: 10.3兆円 11.2兆円
利回り上昇:+0.05%

【預貸粗利鞘(国内3勘定)の推移】

	05年度 上期	05年度 下期	06年度 上期
貸出金利回り	1.16%	1.09%	1.18%
預金・信託元本利回り	0.17%	0.16%	0.22%
預貸粗利鞘	0.99%	0.93%	0.96%

預貸粗利鞘は底入れの兆し
・昨年来、中長期金利が先行して
上昇した効果
・預貸の金利更改サイクルに大きな
ミスマッチ無し



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

貸出金・預金等(国内3勘定)の金利属性別内訳

- ▶ 貸出金は市場金利への連動性高い: 「固定金利(1年~)」「変動金利(市場連動)」で約80%
- ▶ 金利上昇時の期ズレ効果は限定的: 預貸の金利更改サイクルに大きなミスマッチ無し
- ▶ 利鞘改善には中期~長期金利の動向が鍵: 固定金利定期(1年~)比率50%

【貸出金の構成(平残ベース)】

(兆円)	05年度 上期	06年度 上期	構成比
固定金利(1年~)	2.6	2.8	27%
長期プライム	1.3	1.0	10%
変動金利(市場連動)	4.7	5.7	55%
短期プライム	0.8	0.8	8%

中期~長期金利連動比率 約40%

うち6ヶ月毎金利更改 約25%



【預金等の構成(平残ベース)】

(兆円)	05年度 上期	06年度 上期	構成比
固定金利定期(1年~)	4.6	5.3	49%
変動金利定期、貸信・合同	3.3	2.6	24%
固定金利定期(1年未満)	0.8	1.2	11%
流動預金	1.7	1.8	16%

中期~長期金利連動比率 約50%

うち6ヶ月毎金利更改 約30%



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

手数料収入の増減要因

- ▶ 年金・投資信託の受託報酬を中心に「その他信託報酬」が大幅に増加
- ▶ 不動産関連・リテールの投信等販売手数料も引き続き伸長

<連結> (億円)	06年度 上期	05年度 上期	増減額	増減率	主な要因(億円)
その他信託報酬	278	235	43	19%	不動産管理 6、年金その他 7
年金信託・指定単・金外信	157	144	13	9%	年金運用 9
投資信託・特金・有価証券信託	58	42	16	38%	投資信託 13
役務取引等利益	466	406	59	15%	
国内部門	435	384	50	13%	投信運用 7
ホールセール事業関連	218	200	18	9%	ファーストクレジット 18
ウチ証券代行事業関連	104	100	4	4%	
リテール事業関連	134	110	23	21%	投信等販売 18
不動産事業関連	160	142	18	13%	投資マネージ 9、住宅仲介 7
事務(証券管理・年金事務)の アウトソースに伴う支払	72	67	5	7%	
国際部門	30	21	9	43%	グローバルカストディ 4
合計	745	641	103	16%	



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

不良債権の状況

- ▶ その他要注意先債権の減少は昨年度の新規取組先の業績改善に伴う区分改善が主因
- ▶ 債務者区分の悪化・改善に伴うネット信用コストは約40億円

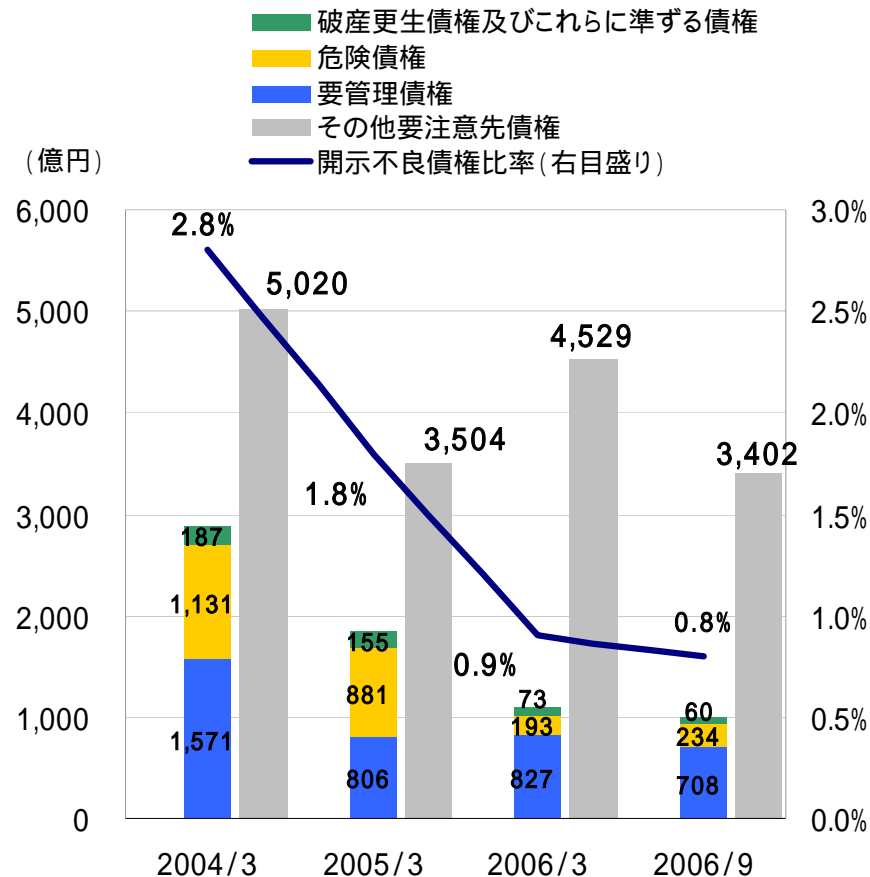
【与信関係費用の内訳(単体)】

(億円)	06年度 上期	05年度 上期
銀行勘定処理額	32	21
償却・売却損等	6	59
貸倒引当金純繰入*	38	38
ウチ個別貸倒引当金等	69	16
ウチ一般貸倒引当金	33	19
信託勘定処理額	1	13
与信関係費用 合計	33	34

* マイナスは貸倒引当金戻入益の計上

・新規発生(区分悪化等)	約 170億円	} ネット 約40億円
・区分改善、残高減少等	約 130億円	
・最終処理に伴うもの	約 10億円	

【開示不良債権残高・比率推移(単体、銀行勘定・信託勘定合計)】



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

有価証券の状況

- ▶ 内外債券ともに売却益(50億円)を確保しつつ着実に評価損益も改善
- ▶ 円債はリスク量削減、外債も外国国債の残高はほぼ横ばい

【評価損益の状況 (連結：償却後 / 時価のあるもの)】

	貸借対照表計上額			取得原価			評価損益		
	(億円)	2006/9末 (A)	2006/3末 (B)	(A) - (B)	2006/9末 (C)	2006/3末 (D)	(C) - (D)	2006/9末 (E)	2006/3末 (F)
満期保有目的の債券	8,036	8,388	352	8,036	8,388	352	19	68	49
其他有価証券	43,694	43,632	61	39,849	39,514	335	3,844	4,118	273
株式	8,709	9,113	404	4,663	4,639	24	4,046	4,474	428
債券(円債)	12,238	13,927	1,688	12,306	14,113	1,807	67	186	118
其他(外国国債等)	22,745	20,591	2,154	22,879	20,761	2,118	134	170	36

【国債残高の増減分析 (単体)】

(億円)	貸借対照表計上額					合計
	1年以内	5年以内	10年以内	10年超	ウチ変動利付	
2006年9月末 (A)	3,547	4,394	4,381	1,410	1,265	13,734
2006年3月末 (B)	2,398	4,880	5,081	1,499	1,197	13,859
(A) - (B)	1,148	485	699	88	68	125

【外国国債*の債券増減 (単体)】

(兆円)	合計
2006年9月末 (A)	0.78
2006年3月末 (B)	0.69
(A) - (B)	0.09

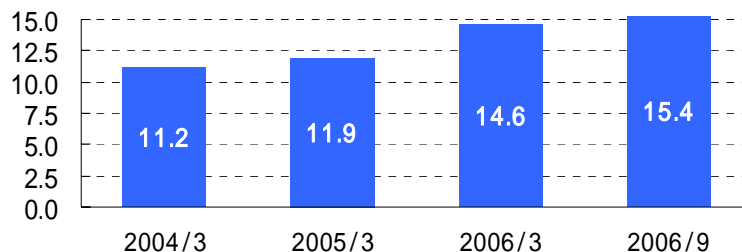
* マーケット資金事業部門の管理に係る外国国債のみ(取得原価)



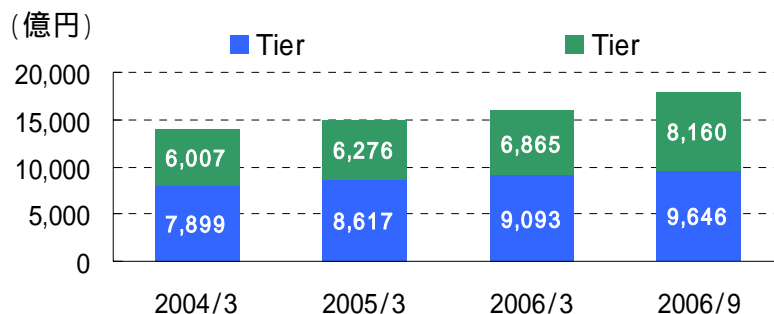
自己資本の状況

- ▶ 貸出金の増加を主因にリスクアセット拡大ながら、拡大ペースは巡航速度化
- ▶ ユーロ市場での永久劣後債発行(£500百万)により規制自己資本比率のバッファ引上げ

【リスクアセット等(連結)】 (兆円)

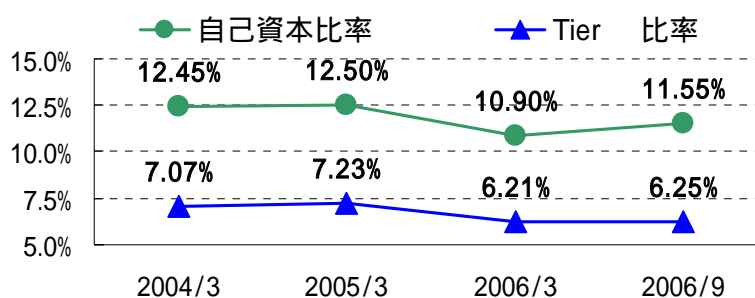


【自己資本(連結)】



* 控除項目はTierから差し引いて表示。

【自己資本比率(連結)】



【リスクアセット等増減要因】

	06年度上期 増減額 (兆円)
オン・バランス	0.6
ウチ貸出金	0.5
ウチ子会社資産	0.1
オフバランス	0.1
マーケット	0.0
合計	0.8

【自己資本の増減要因】

	06年度上期 増減額 (億円)
Tier	552
ウチ純利益計上	639
ウチ配当支払	142
Tier II	1,266
ウチ有価証券評価差益	115
ウチ劣後債務	1,418



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

2006年度 決算予想



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2006年度決算予想

- ▶ 上期増益分のうちマーケット資金事業の増益相当を除き5月予想に上乘せ
- ▶ 配当は、通期業績予想ベースで配当性向23.7%に相当する17円の予想

(億円)	05年度	06年度	06年度
<連結>	実績	(06年5月予想)	(今回予想)
実質業務純益	1,962	2,000	2,100
経常利益	1,719	1,750	1,900
当期純利益	1,000	1,050	1,200
<単体>			
実質業務純益	1,646	1,650	1,700
不良債権処理額()	97	200	150
その他臨時損益	65	50	50
経常利益	1,482	1,500	1,600
特別損益	2	0	0
当期純利益	884	900	1,000
与信関係費用()	97	200	150
1株当たり配当金(通期)	12円	15円	17円
連結配当性向	20.0%	23.9%	23.7%



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

各事業及びグループ戦略の状況



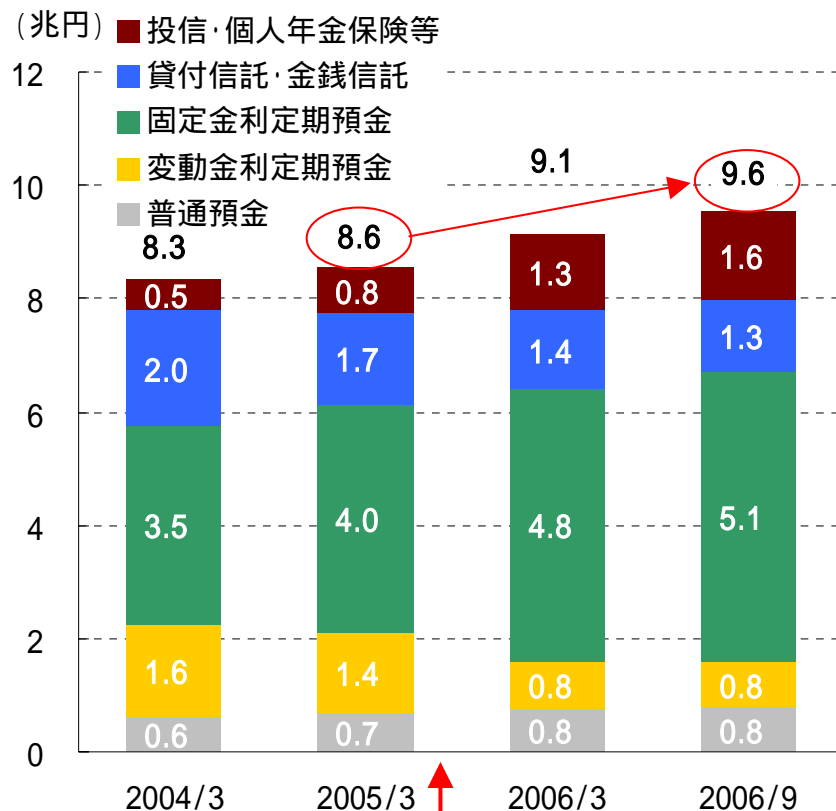
SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

リテール事業

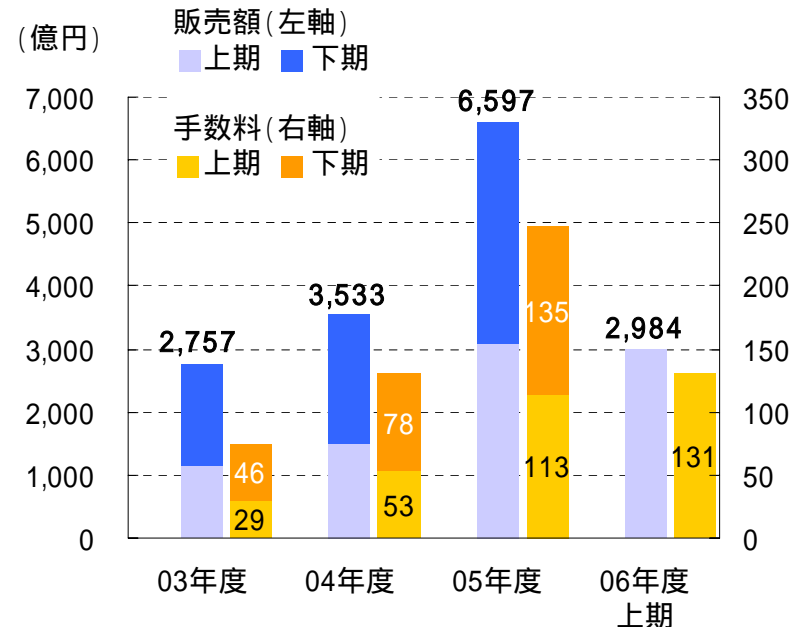
- ▶ 総預り資産は順調に拡大(預金・投信等とも) 過去1年半の伸び率は11.6%に
- ▶ 投信・年金保険等の販売額は前年同期並だが、ストックの投信管理報酬効果で着実な増収

【預り資産ポートフォリオ(個人)の推移】



ペイオフ全面解禁 2005/4

【投資信託・年金保険等の販売額・収益推移】



【個人ローン実行額】

(億円)

03年度	04年度	05年度	06年度
		ウチ上期	上期
2,136	2,748	4,615	1,677
			1,862



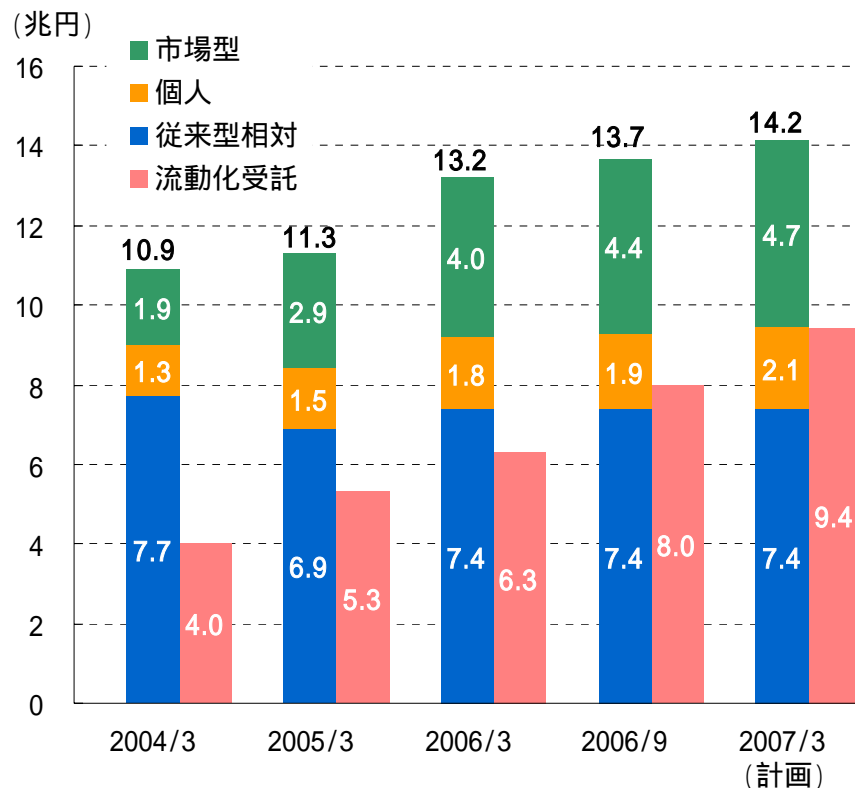
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

ホールセール事業及び貸付金等の状況

- ▶ 市場型貸付中心に残高拡大したが、増加ペースは巡航速度化
- ▶ シンジケートローンのアレンジメント手数料減収を主因に市場型貸付関連手数料は出遅れ

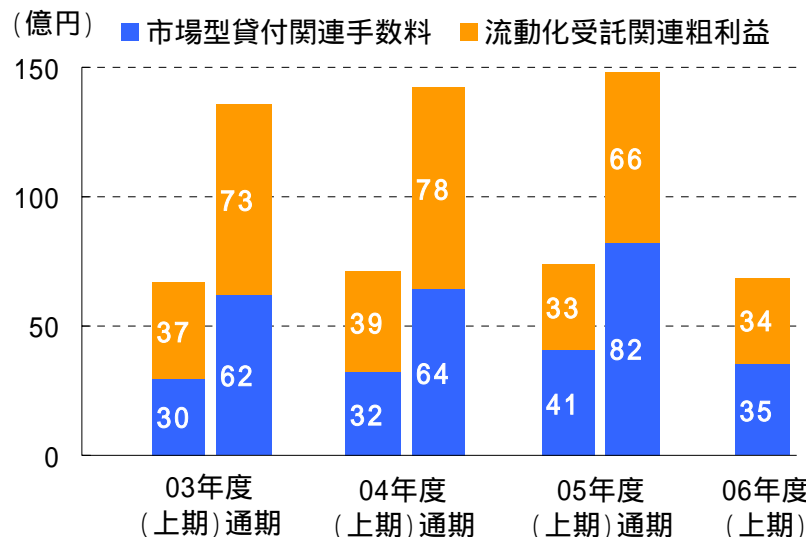
【貸付金等残高の推移・計画(単体)】



(注) 市場型にはクレジット投資目的の債券を含む。

【流動化受託に関する収益推移】

【市場型貸付に関する役務手数料推移】



【市場型貸付残高内訳】

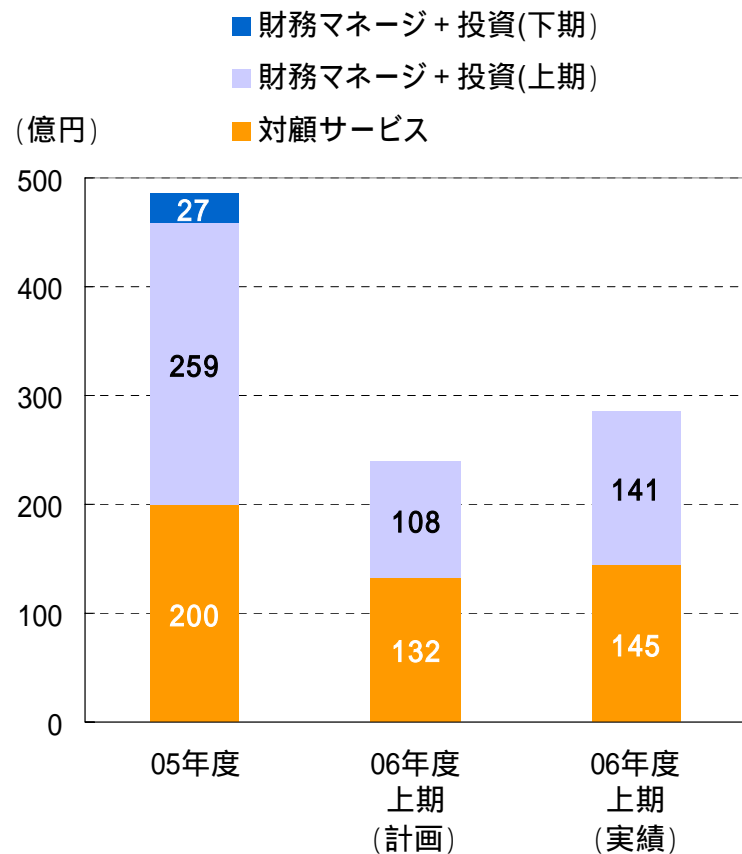
(億円)	05年3月	06年3月	06年9月
不動産ノンリコースローン プロジェクトファイナンス	7,661	8,965	10,296
シンジケートローン セカンダリー債権購入、ABS	11,881	19,532	20,507
海外 (CLO、ABS、ハイイールドローン)	8,961	11,774	13,356
合計	28,503	40,271	44,159



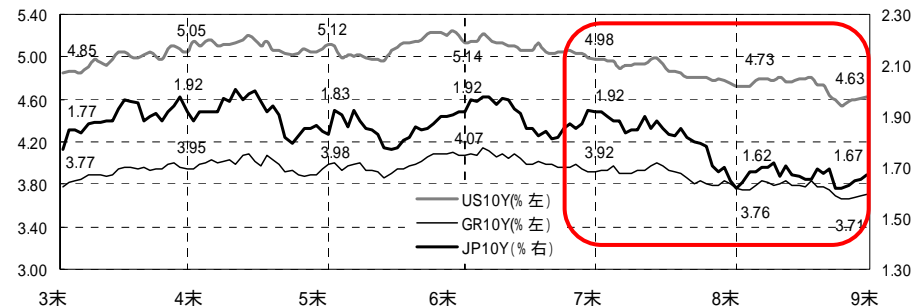
マーケット資金事業

- ▶ 日米欧の金利低下局面を捉え、財務マネージ・投資は計画を上回る実現益確保
- ▶ 対顧サービスも順調に拡大、収益基盤安定化に寄与

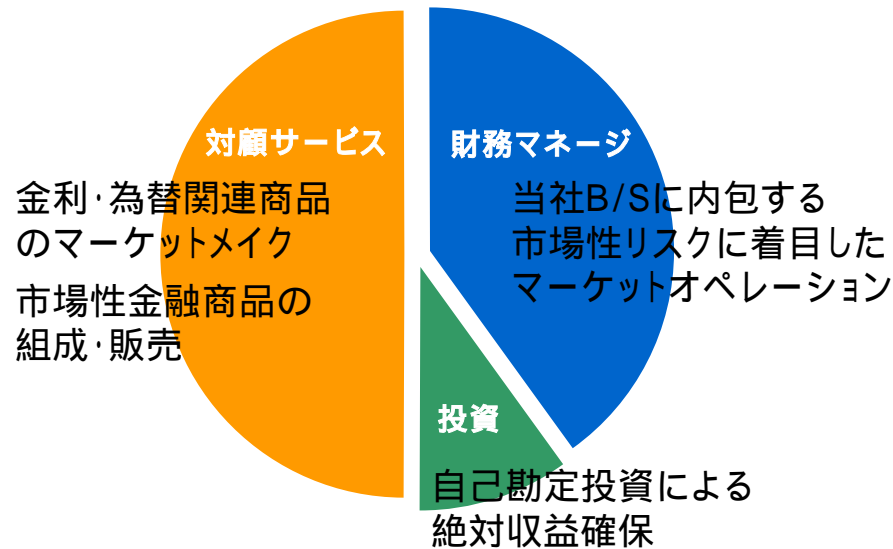
【収益内訳(実質業務粗利益ベース)】



【マーケット環境(金利)】



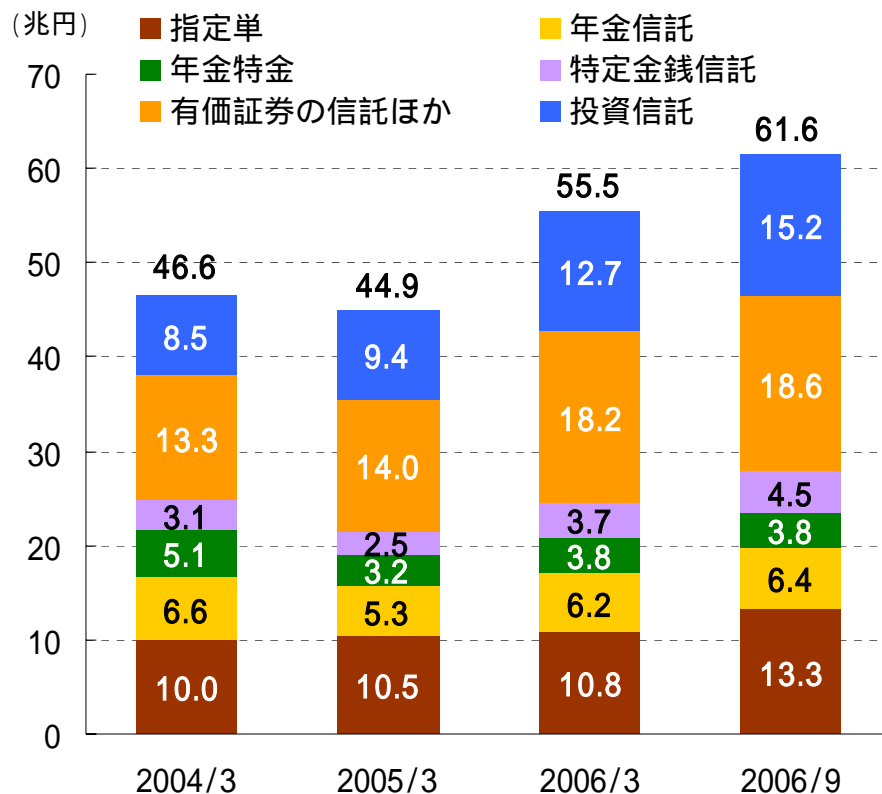
【マーケット資金事業領域】



受託事業

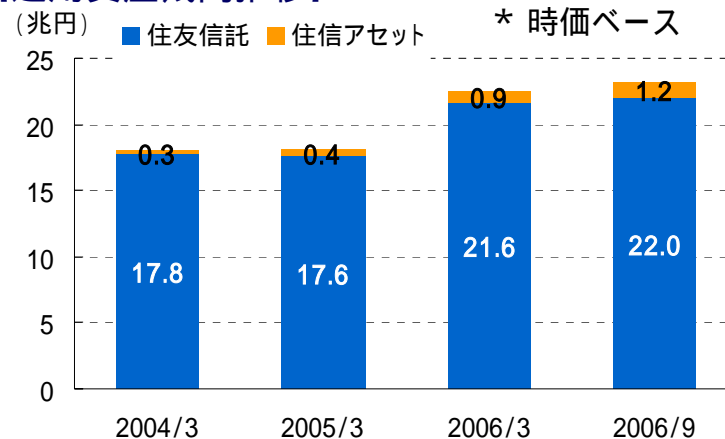
- ▶ 公的年金と投資信託の受託増を主因に受託資産残高が大幅増加
- ▶ グループ会社の資産残高も順調に増加

【受託資産残高推移】

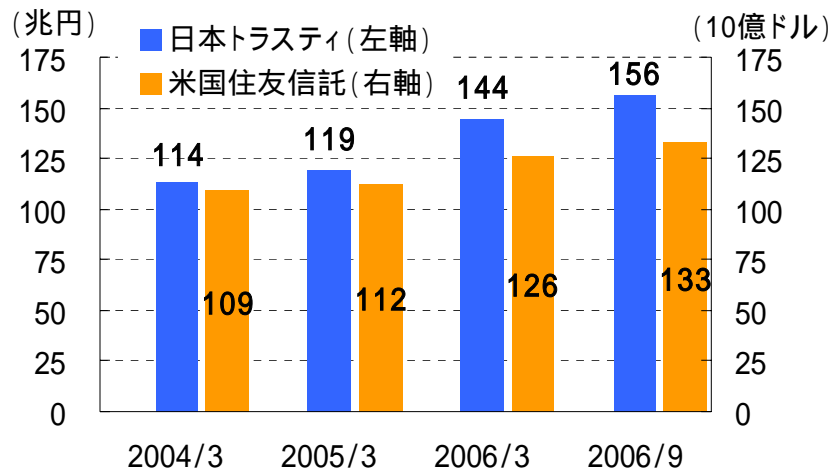


* 投信、指定単、特定金銭信託は簿価ベース
 * 年金信託、年金特金、有価証券の信託は時価ベース

【運用資産残高推移】



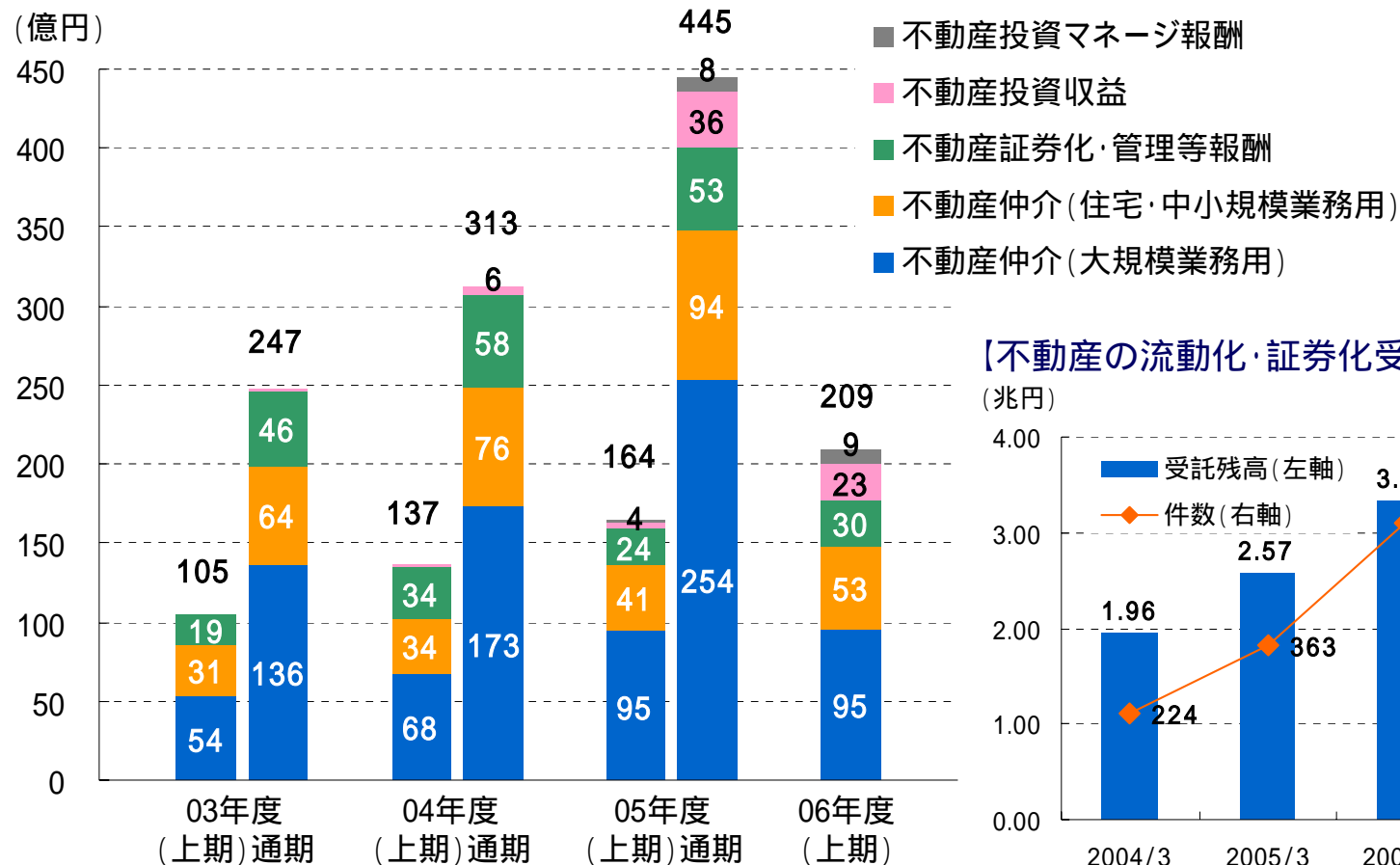
【日本トラスティ・サービス信託 受託資産残高推移】
 【米国住友信託 受託資産残高推移】



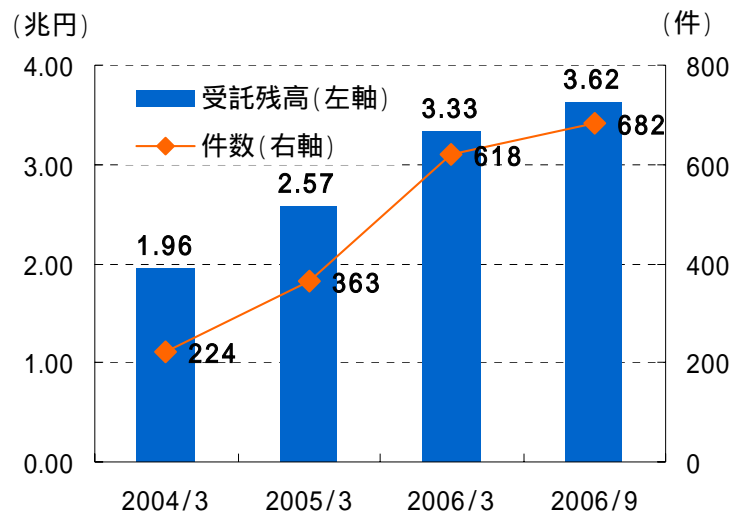
不動産事業

- ▶ 好調な市況の持続を反映し、不動産仲介手数料は前年同期比で増益
- ▶ 不動産証券化関連報酬、エクイティ投資収益、不動産投資顧問報酬等収益源の多角化推進

【不動産業務粗利益の推移】



【不動産の流動化・証券化受託実績推移】



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

住信・松下フィナンシャルサービスの状況

▶ 減益の主因は前年の特殊要因(引当基準統一に伴う取崩益)の解消(17億円)

▶ リース料の減収をより収益性の高い割賦・ファイナンスの増強でカバーして行く計画

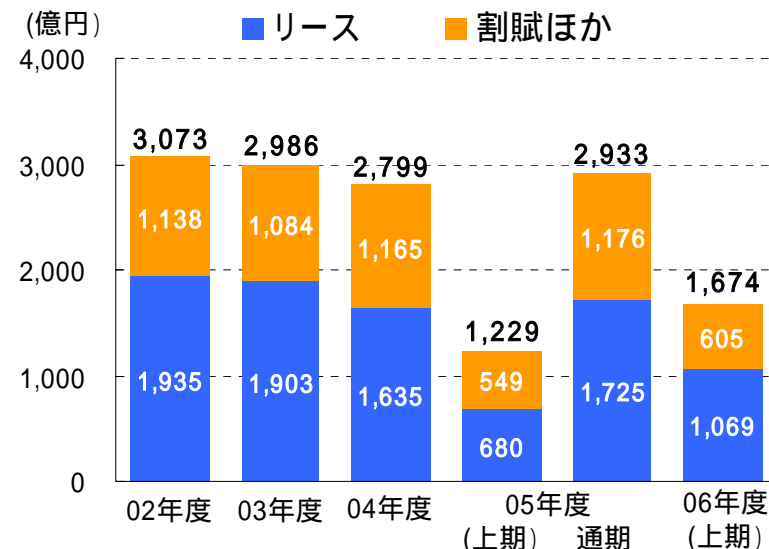
主要P/L(億円)	2006年度上期		2005年度
		増減	上期
取扱高(*)	1,674	443	1,229
営業利益	23	28	52
ウチ販売管理費	88	5	94
経常利益	25	29	54
税引前当期純利益	26	24	50
当期純利益	15	14	30

取扱い商品拡大

- ・ オペレーティングリース、ファクタリング
- ・ リフォームローン・販売金融提携
- ・ 信託代理店
- ・ (予定)銀行代理店、新クレジット・カード

主要B/S(億円)	2006年9月末		2006年
		増減	3月末
総資産	5,579	351	5,227
ウチリース資産	3,263	329	2,933
ウチ売掛金	1,333	3	1,330
ウチ営業貸付金	632	8	624
純資産	683	7	675

【取扱高(*)推移】



* 06年度から新基準採用。表・グラフとも05年度上期から新基準にて表示
旧基準 新基準で、05年度通期 146億円

ファーストクレジットの状況

- ▶ 好調な不動産市況及び住信ブランド効果により、残高が大幅に伸長し、収益も拡大
- ▶ 地銀等の提携拡大し、今後の取引フロー増加に期待

主要P/L(億円)	2006年度上期		2005年度
		増減	上期
営業利益	43	22	20
ウチ 貸付金事業粗利	75	36	38
ウチ 営業経費	31	12	19
経常利益	43	22	21
税引前当期純利益	45	14	30
当期純利益	49	19	30
与信関係費用*	10	19	8

* 貸倒引当金繰入額。マイナス表示は戻入益。

主要B/S(億円)	2006年9月末		2006年
		増減	3月末
総資産	1,611	381	1,229
ウチ 営業貸付金	1,544	391	1,153
ウチ 貸倒引当金	67	12	54
純資産	322	49	273

提携先拡大

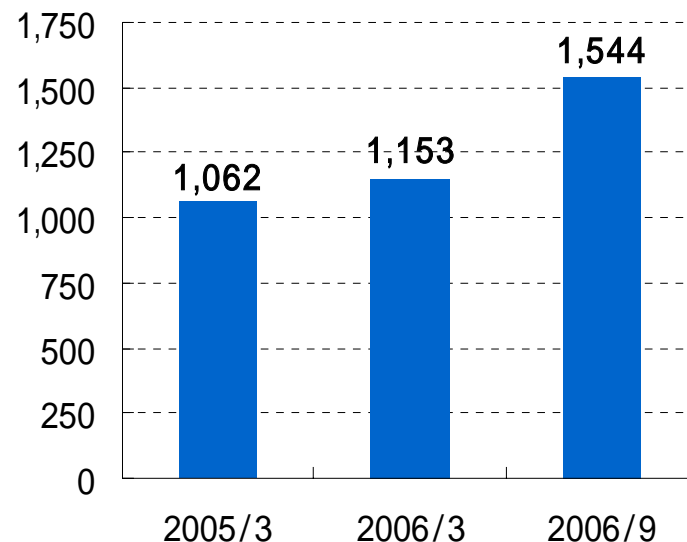
06/3末 5社 06/9末 10社

ウチ銀行4行

八千代、広島、西日本シティ、東京スター
すみしん不動産との連携強化

【営業貸付金残高推移】

(億円)



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

その他の戦略的投資の状況

- ▶ 八千代銀行の公的資金返済、リファイナンス実施 各種業務提携を開始
- ▶ 新ネット銀行は来年度上期中の開業に向けて準備継続

八千代銀行提携

【戦略・投資の概要】

- 首都圏を地盤とする地銀(西東京・北神奈川中心に84拠点)
- 優先株式等を430億円で取得
- 比較的富裕層の多い地域に密集した支店網を通じ、住信プロダクトを販売

【これまでの進捗】

- リファイナンス実施(8月・9月)
 - ・優先株・劣後転換社債 計300億円
 - + 普通株5% 潜在持ち株比率 約36%
- 業務提携開始
 - (6月) 住信アセットの投信販売
 - (7月) ATM提携、遺言信託・遺産整理
 - 不動産業務、ファーストクレジット提携
- 八千代銀行業績
 - ・中間純利益46億円(05/9比+12億円)

新ネット銀行 / SBIグループ提携

【戦略・投資の概要】

- SBIグループとの50%/50%の合併 + SBIグループとの様々な分野で業務提携
- 当初出資予定100億円(持分50%相当)
- SBIイー・トレード証券の顧客を含む、若い世代に魅力ある第2のブランドを創設

【これまでの進捗】

- SBIグループとの業務提携開始
 - ・投信共同開発(モーニングスター)
 - ・住信アセット投信販売(SBIイー・トレード証券)
 - ・PB顧客(企業オーナー)紹介
- 新ネット銀行設立準備会社の設立(4月)
 - ・商品・サービス構成や業務運営体制決定
 - ・システムその他のインフラ整備推進中
 - 来年度上期中を目処に開業予定



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

更なる成長への道程



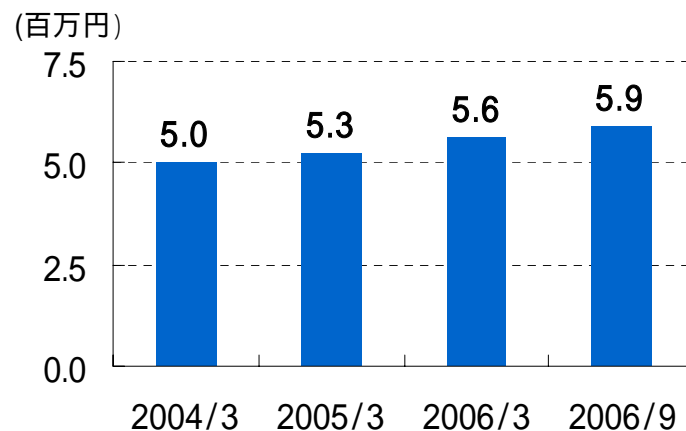
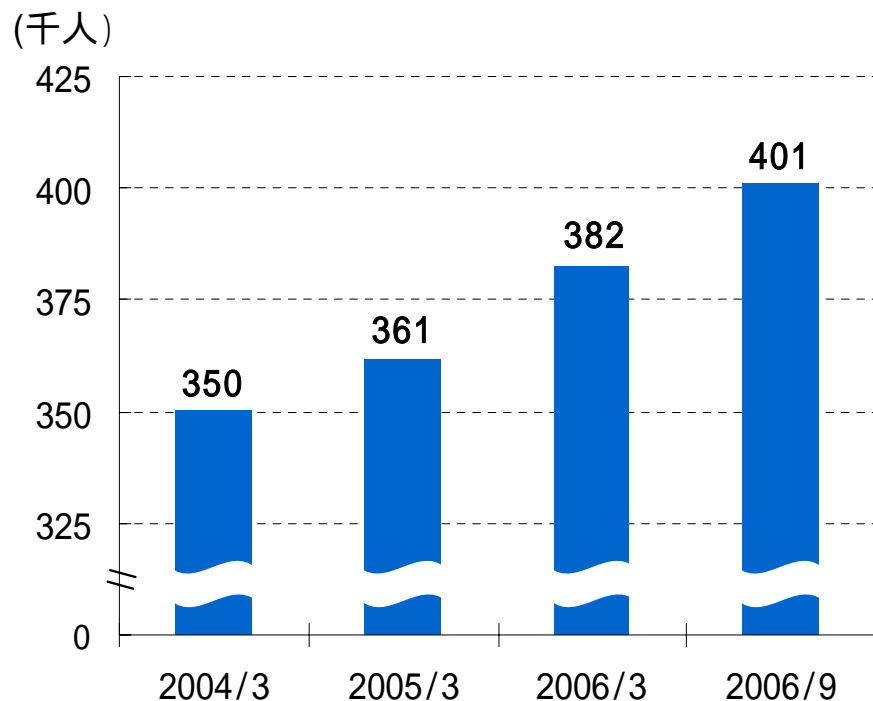
SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

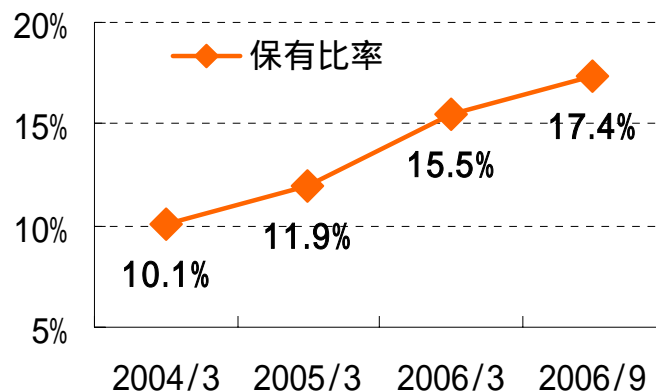
リテール基盤の拡大

- ▶ 「資産運用メインバンク」への取り組み：お客様一人当たり預かり資産の増加に確かな手応え
- ▶ 店舗改装・新規出店、人員増、広告戦略など、信託世代大量退職への準備着々

【定期預金・投資信託の残高が7百万円以上のお客様の推移】【定期預金・投資信託の取引があるお客様(*1)の1人当たり預り資産残高の推移】



【定期預金・投資信託の取引があるお客様(*1)の投資信託等保有比率の推移】



(*1) 定期預金・投資信託の取引があるお客様
06年9月末時点 約130万人



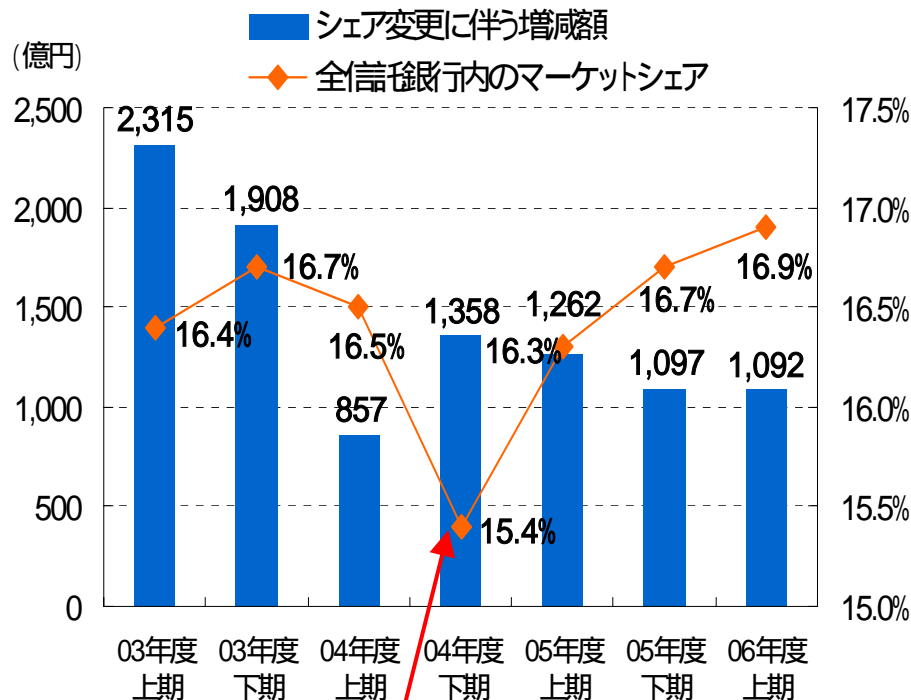
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

信託財管事業基盤の拡大(年金事業)

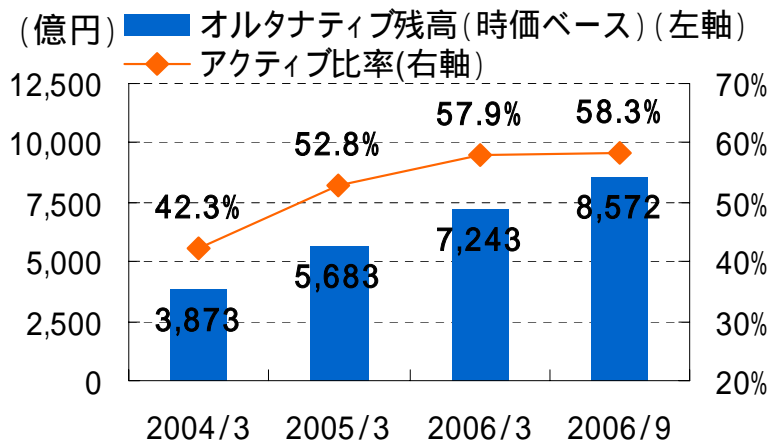
- ▶ 企業年金の受託シェア攻防において継続的に勝利
- ▶ 高付加価値プロダクトを武器にシェア獲得することで収益性の向上も達成

【シェア変更に伴う年金信託残高の増減推移】
【年金信託の全信託銀行内でのマーケットシェア推移】

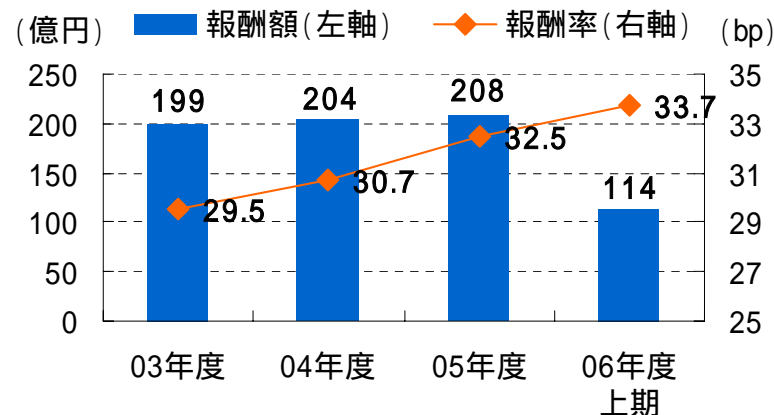


大型基金の解散及び大型基金による契約形態の変更に伴う信託内シェア減少

【年金信託アクティブ運用比率推移】
【オルタナティブ投資受託残高推移】



【年金信託報酬額・報酬率推移】



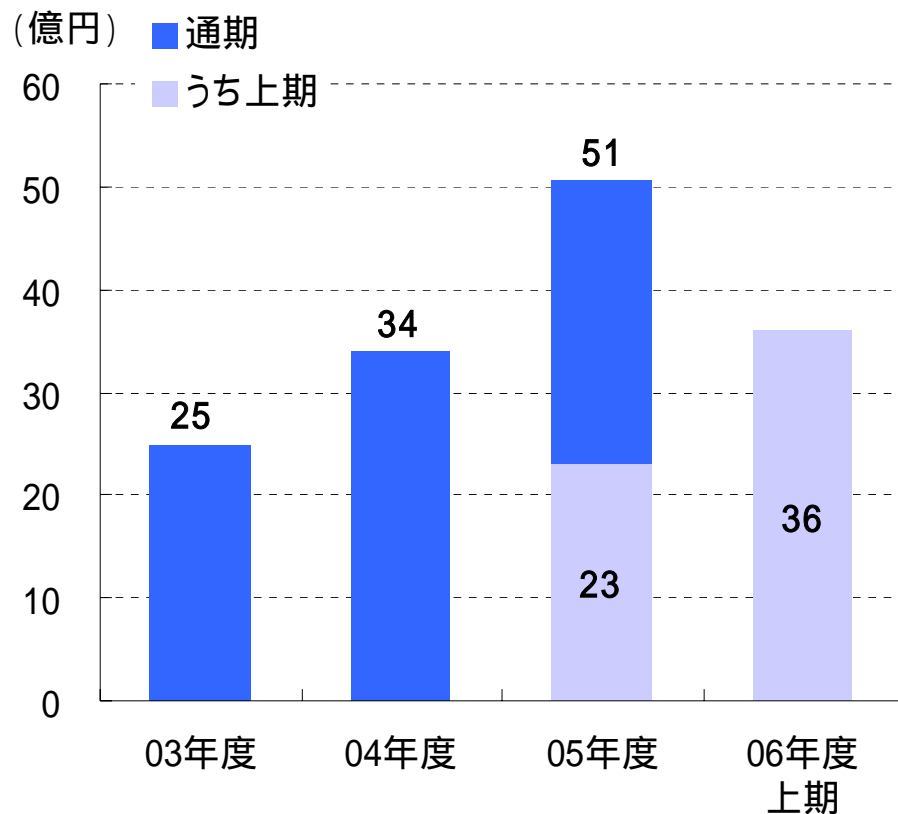
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

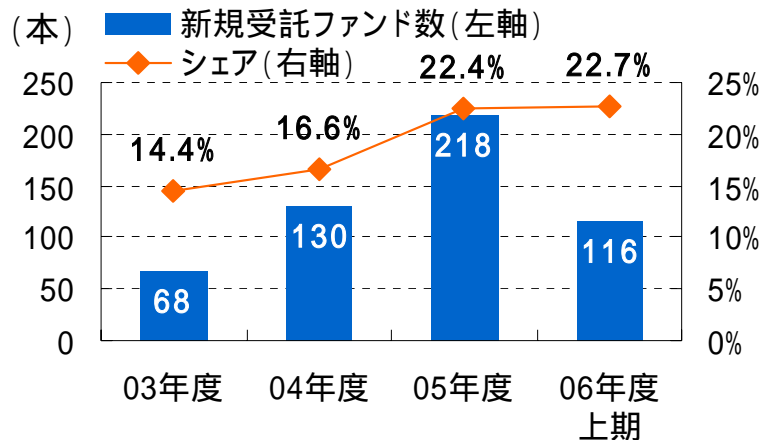
信託財管事業基盤の拡大(証券管理サービス)

- ▶ 「貯蓄から投資へ」の流れを捉え、投資信託の受託報酬が大幅に伸長
- ▶ 株式型投資信託の新規受託ファンド数に拘った営業でシェア拡大

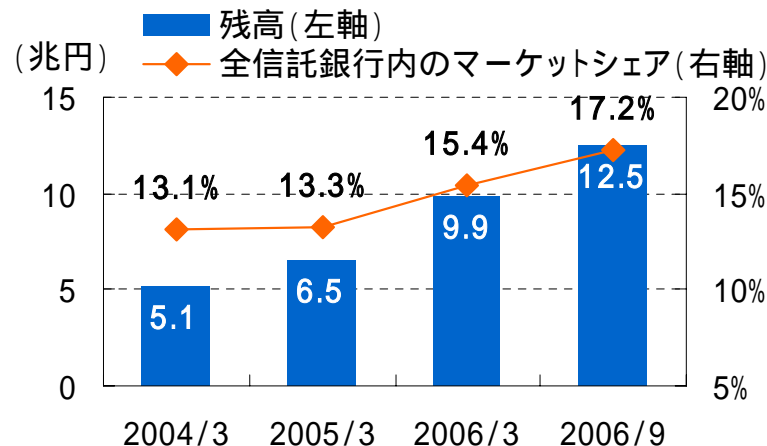
【証券投資信託の受託報酬推移】



【株式型投資信託の新規受託ファンド数推移】



【株式型投資信託の残高推移】



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

グループ戦略の強化

- ▶ 住信リースのTOBを実施(06年10月24日～06年11月27日) 100%子会社化を企図
- ▶ 2008年目処に住信リースと住信・松下フィナンシャルサービスの再編を目指す

【住信リースTOBの目的】

グループ内の経営資源効率活用 + 連結利益向上 (実質持分27.5% 100%を目指す)

住信リース株式会社

大企業向けリースに強み

◆ 総合リース業

05年度(億円)		売上高	1,636
総資産額	5,246	経常利益	69
純資産額	401	当期利益	44

住信・松下フィナンシャルサービス(株)

多彩な機能と幅広い顧客基盤に強み

◆ 総合リース業、割賦購入斡旋業、
クレジットカード業、各種ローン

05年度(億円)		売上高	1,925
総資産額	5,227	経常利益	84
純資産額	675	当期利益	48

規模のメリット確保と
事業の多角化・総合化
を追求

2008年を目処にグループ内再編

リテール・中小企業向けファイナンス機能を持つ総合金融会社へ



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。